

来賓挨拶Ⅱ

福岡市 総務企画局長 中村 英一 氏

ただいまご紹介いただきました、福岡市の中村です。本日、シンポジウムがこのような盛大に開催されますことをお喜び申し上げますとともに、先般話題になりました陥没事故では、皆様にご心配をおかけいたしました。心から、発注者としてお詫びを申し上げます。

また、最近陥没事故に限らず、福岡市は様々な話題を振りまいていることと思います。お話がありました、国勢調査における5年間の人口の増加数と伸び率は政令指定都市中、一位でございました。開業率も一位。そして、クルーズ船も年を追う毎に数多く来航していただいております。今年、330回ほど来航するという予定になっております。色々な統計的な指標は我々福岡市職員にとって嬉しいものがあるのですが、その中でも私たち職員が一番ホッとする統計の数値が、毎年の市民意識調査の市民の方が感じられる福岡市の住みやすさでございます。毎年95%を越えております。

また、住み続けたいという声も、同様に90%以上の数値を長年保っております。同じく外国人の方にもアンケート調査をしておりますが、やはり95%以上の方が福岡市は住みやすいと仰っていただいております。要因には、色々あると思いますが、コンパクトシティ、地形的な問題もありましようが、人の温かさ、寛容な心も出て来ます。具体的には、町が綺麗、活気がある、個性があるという声も寄せられています。そして、その大きな柱、一端を担っていただいているのが、エリアマネジメント団体、特に博多まちづくり協議会様とWe love 天神協議会様であります。

私は心から厚く御礼を申し上げたいと思っております。私がまだ課長でしたころに、博多まちづくり協議会の立ち上げのお手伝いをしたことが、非常に記憶に残っております。その時も、JR様をはじめとして、様々な企業の方が熱く、この博多駅地区の将来について語り合っておられました。回遊性から安心・安全の確保まで、実際に自ら汗をかいて、時には福岡市と連携し、時には自立的に懸命に取り組んでいただいている。そんな姿が今でも頭に浮かんでいるところです。

先ほどご紹介がありましたけれども、今日金曜日が、アメリカズカップの練習日、土日が本番、そしてストリートパーティーもあります。これまで福岡市は、様々な形で官民連携というものを推し進めて参りました。これからも、様々な分野で官民連携というものを一つの柱として推進を、そして手を取り合って福岡を盛り上げていきたいと思っております。

最後に、シンポジウムの開催にご尽力いただきました本郷会長様、中村会長様をはじめ、関係者の皆様に深く感謝申し上げますとともに、全国エリアマネジメントネットワークの今後益々のご発展並びに本日お集りの方々のご健勝とご活躍を祈念して、私の挨拶とさせていただきます。本日はようこそ福岡へいらっしゃいました。ありがとうございます。